

学校だより 麦の穂



令和5年度7月号 6/22発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 982人(一)
電話番号 26-2522
ホームページアドレス



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/08fujineminami/>

「学校ホームページ」は、この一か月で21400件のアクセス(1日平均700件)でした。ぜひ、ご覧ください。

新型肺炎ウイルスの感染法上の類型が2類から5類に移行し40日余り。学校生活はコロナ禍以前の本来の姿に戻りつつあります。

5年生の自然教室は制限のない形で実施し、水泳の授業も通常通りに行っています。

6月も半ばを過ぎ、暑さが増してきましたので、熱中症対策も兼ね、登下校時や体育、遊びの際など、マスクを外す指導も折を見て行っています。

しかしながら、全国的には「第9波」の到来も叫ばれていますので、学校は、まだまだ感染を心配しながらの生活は続きます。換気や手洗い、3密の回避などを引き続き意識しながら、豊かな学びに満ちた学校生活を行っていきます。御理解と御協力を引き続きお願い申し上げます。



■新しい時代の授業～デジタルとリアルの一體的な充実～ 校長 風間 裕之

タブレットが学校に導入されて3年目を迎えました。1年生は基本的な扱い方を習いながら、少しずつ学習に生かす段階ですが、高学年になると個人差はあるものの、慣れた手つきで画面をスクロールしながら操作したり、キーボードを叩いたりして使いこなす姿が見られます。調べ学習一つとっても、従来はノートと鉛筆を手にメモを取る方法が主流でしたが、今はタブレットで写真を撮ったり、ネットで見つけた記事をコピーしたりして、それにキーボードで言葉を加筆するという方法が多くなりました。令和5年度は、新たにロイロノートというアプリケーションの導入でお互いの考えを簡単に比較検討できるようになり、学び合いの授業の深まりも期待されます。今後、学びの質を高めるためにVR(バーチャルリアリティ)等、新たなICT機器、技術の活用を進めていく予定です。

一方、ICT機器にない価値をもつのがリアルな体験です。例えば、野菜を育てる活動。土に触った感触やにおい、葉のざらざら感や実った作物を手にした時の喜びは、実体験が伴わなければ得られません。また、直接工場に行って聞く機械の音や油のにおい、額に汗して働く人の姿や様々な体験活動は、時に感動をも提供してくれる貴重な学びです。



これからの学校の授業では、ICT機器を効果的に活用して学びを進めたり深めたりすると共に、五感で感じるリアルな体験活動を更に充実させていきます。豊かな体験活動の充実には、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えが必要です。よりよい学びの実現に向け、御協力をよろしくお願いいたします。